

## やる気のある職場づくりは上司の仕事

中小機構経営支援チーフアドバイザー植田和憲を講師として「ものづくりの基本 やり直しの 5S」と題した経営セミナーを開催しました。植田講師は、民間企業において長年、品質管理・製造に従事し、工場長や経営者としての経歴の持ち主。今回は、その経験から 16 もの失敗事例を基に講演しました。その中のほんの一部ですが、5Sを実施する上で、失敗のポイントをご紹介します。このような言葉で社員のやる気や社員の笑顔をなくしてはいませんか？

### 現場の問題で、経営者が関与した悪い例

「俺の言うことが聞けないのか」【思考力をなくす言葉】	「失敗は許されん」【挑戦意欲をなくす言葉】
「今度間違ったら首だぞ」【向上心を止める言葉】	「そんなことは常識だよ」【周囲ばかりを気にさせる言葉】
「何が言いたいんだ」【話の腰を折る言葉】	「これは誰が責任を取るんだ」【失敗した人を叩きのめす言葉】

何のために 5S をするのか。すべては、自分のためであり、お客様のためである。『衛生理論』として、F.ハーズバーグ氏：アメリカの心理学者は次のように分析している。

### 【この 4 つが満たされると知識労働者は満足し、やる気が湧いて出てくる】

- ①仕事の達成 ②達成に対する承認 ③仕事そのもの(仕事を任される) ④昇進

### 【この 5 つが満足するが満たされると満足するが残念ながらやる気は出てこない。これらが満たされないと逆に不満に感じてしまう。】

- ①会社の政策と経営 ②監督技術(上司からの管理・監督のされ方) ③給与 ④対人関係(上司との人間関係) ⑤作業条件

### <参加者の声>

「意識付けを継続的に行う重要性を改めて考える機会となりました」  
「人を育てる。やる気を起こさす環境を作る。等の具体例を知ることが出来ました」

経営でお悩みの方は、無料の「[経営相談窓口](#)」をご利用ください。

また、「[中小企業大学校関西校](#)」では、多種多様な研修を行っております。ご利用をお待ちしております！

お問い合わせ先：中小機構近畿本部 企画調整課 電話 06-6264-8611 大阪市中央区安土町 2-3-13 大阪国際ビル27階



セミナー会場



植田和憲講師



中小企業大学校関西校  
檜山研修課長